

JENESYS 2022



対日理解促進交流プログラム ミャンマー高校生オンライン派遣プログラム

プレプログラム 2回

10月5日、11月11日

本プログラム 6回

12月8日、9日、19日～22日

【JENESYS2022 派遣プログラムの目的】

- ① ASEAN 諸国・東ティモールと日本の青少年の相互理解を促進し、将来の友情と協力の礎を築く。
- ② 日本の社会、歴史、文化多様性、政治及び外交政策に関する理解促進を図る。
- ③ JENESYS プログラムの参加者は、プログラムを通して得た知識や経験を、個人的な思い出で終わらせることなく、帰国後も家族・友人・地域などで伝え、日本に関する両方を発信していく。

【参加生徒】 11名

- ・ 2年生 田中さくら 西田千華 小竹黄葉 宮崎遥
- ・ 1年生 北出敦寛 芝田葵依 寺井巴菜 中村壮太 橋本昊征 早田朱里 本田亥節

【本プログラム1, 2回目】

ミャンマー語講座やオンラインでの市内観光・ホームビジットを体験。



【本プログラム3, 4回目】

ミャンマーの生徒の皆さんに向けて、学校紹介や日本の文化紹介。質問もたくさん出て、会話が盛り上がりました。ミャンマーの生徒の皆さんからも、ミャンマーの文化や伝統風習、お祭りなどの紹介をしてもらいました。



【本プログラム5回目】

翌日の本プログラム6回目 派遣プログラム報告会の準備。



【本プログラム6回目】

今回の派遣プログラム報告会

ミャンマー日本国大使館書記官 中島 優子氏、JICE 国際交流部部长 塩野谷 剛氏も参加してください、指導助言をいただきました。



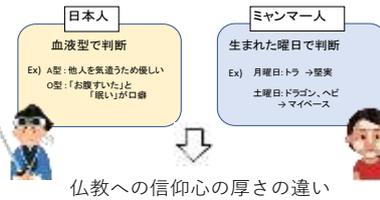
5つのアクションプラン

1. 全校生徒に向けた総合的な探究成果発表
2. 地元新聞社による取材
3. 学校ホームページ (SGHネットワーク通信) に掲載
4. 日高高校国際交流SNS等での情報発信
5. 生徒個人でTikTok, Instagramでの情報発信

水祭り

水祭りとは・・・新年を迎える祭り。

一年の汚れを洗い流す。新鮮な気持ちで新年を迎えることができる。



【参加生徒の声(一部抜粋)】

初めは、ミャンマーのことを全く知らず、プログラムに少し不安を持っていましたが、最終的には、ミャンマーのことを深く理解し、その上、ミャンマーのことが大好きになりました。このプログラムを企画していただいたJICEさんには本当に感謝しています。このプログラムで、ミャンマーのことを3時間くらい話すことができるくらい知識を培いました。また機会があれば、周りの人にミャンマーの魅力を伝えることをしたいと思います。このプログラムは自分にとって最高の体験になったと思います。この体験を今後の自分の人生につなげていこうと思います。(中村)

自分が成長していると感じることで、喜びを覚えるとともに、視野が広がり将来が明るく思えるくらい得たものが多く大きいと感じている。今回の経験をいろんな事に生かしていくためにも新しいことにどんどん挑戦していきたい。(早田)

今まで私はこういったプログラムに参加したことがなく、参加すること自体不安があったが、一緒に参加したクラスメイトや先生のおかげで楽しく参加することができた。また、発表時にはミャンマーの方々が興味を持って私たちの発表を聞いてくれ、質問も多くとても嬉しかった。中には日本語で話してくれた方もおり、上手で驚くとともに積極的に日本に興味を持つてくれていることに今まで味わったことのない嬉しさを感じた。今回のプログラム参加は今後の私にとってとても意義のあるものになった。プログラムが進むにつれ

人生のなかで、ミャンマーに行ってみたいと強く思うし、今回のような交流を直接会ってできるようになったらいいと思います。ミャンマーの生徒さんや大使館の方はとても優しい人たちでした。こちらからの質問には快く応えてくださり、本当に楽しい時間を過ごせることができました。また、みんなで撮った記念撮影の素敵な笑顔が忘れられません。とても仲よくなれたと思います。また機会があれば参加したいと思います。(北出)

このプログラムを通して、ミャンマーの方々の優しさを心から感じる事ができました。そして、海外の文化や日常生活を体験型で楽しみ学ぶことができました。私たちも日本の文化など美演形式で発表したが、次にこのような機会があれば、ホームビジットのような形で日常生活を多くの人に知ってもらいたい。とても素晴らしい経験になった。(寺井)

SGH